



## 東京赤坂ロータリークラブ

NO.1174 / 2013.12.06

例 会/ANA インターコンチネンタル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂 2 丁目アネックス 3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

http://www.akasakarotary.com/

### 東京赤坂ロータリークラブ週報 Weekly Report

2013～2014 年度クラブテーマ  
会長 西澤 民夫

「みんなで参加、心地よいチャレンジを！」  
Join Together with Good Challenge!

本日の例会/ 2013 年 12 月 6 日 第 1282 回

卓話： イニシエーションスピーチ  
石井 達 会員

前回報告/ 2013 年 11 月 29 日 第 1281 回例会

卓話：「リーダーのあり方」

第 80 代 警視總監

公益財団法人 日本盲導犬協会 理事長 井上幸彦 氏



紹介者：高須会員

慶事披露：

誕生祝い /  
小林博茂 君  
(11 月 7 日)



Member's Voice

めんぼう No100

西澤 民夫

### 保険の話 (その 2)

今回は、養老保険を上手に活用して、**終身にわたって年金を受け取る**準備に役立つお話しです。

養老保険なので、万一の場合の死亡保険金を受け取れるのは勿論、ニーズに合わせて積み立てた解約返戻金を、様々な方法で受け取る事が選択可能との事。つまり終身受け取りを選択して老後の年金を確保する方法である。

日本における、いわゆる年金保険の殆どが、一時受け取り又は 10 年確定年金での受け取り方法しか選択出来ない昨今、表題に掲げた通り終身にわたって年金を受け取るのは勿論のこと、5、10、15、20 年の期間を定めた確定年金。年金開始後は決められた期間を生死に関わらず年金を受け取り、その後も終身にわたって年金を受け取る 10、15、20 年の保障期間付終身年金、またこれを保障期間付夫婦連生終身年金で受け取る事も可能との事。

国に年金原資が不足している事や、労働力の減少による年金問題は自助努力での解決は必要不可欠である。こちらの養老保険は通貨を円貨と US ドルで選択可能との事で、分散投資にも役立ちそうである。今回は通貨間の金利差についてお知らせしたいと思う。

出席報告： 会員 38 名 / 出席 23 名 欠席 15 名

ゲスト：井上幸彦(卓話)、永井純子、佐久間 恵一

ビジター：浅川博道(東京みなと RC)、大谷啓(東京銀座 RC)計 5 名(順不同)

### 親睦だより (NO.4)

11/26 親睦ゴルフ会を予定どおり「日本カントリークラブ」にて行いました。小春日和とでもいのでしょうか、無風で暖かい日差しに恵まれ絶好のコンディションでした。参加会員は 10 名の三組で、新ペリア方式にて和気あいあいと競技を行いました。優勝は石井謙次会員で、日頃の行いと、新ペリアによるハンディに恵まれたと本人のコメントです。コースは砲台グリーンとアジソンバンカーという難攻でしたが、次期会長の優勝は来年に向け大いに明るい話題です。もっとも西澤会長は「オレが参加できなかったからだ。」と云っております。

いよいよ 2013 年(平成 25 年)もあと 26 日残すのみとなりました。今年は皆様にとりましてどんな年になりましたか?ロータリーライフの今年のメとして、恒例の「忘年家族会」を来る 12 月 20 日(金)午後 6 時から例会場と同じフロアのギャラクシーにて行います。ふるってご参加お願いします。もちろんご家族、ゲスト大歓迎です。アトラクションはかわいい素敵な「アミーカ(ALSOK)」による演奏、我が誇れる「赤坂カルテット+1」の発表会、ピンゴゲームと盛りだくさんです。蛇足ですが、当日のピンゴゲーム賞品の寄贈をお願いします。

次回予告/ 2013 年 12 月 13 日 第 1283 例会

卓話予定：「ゴルフに感謝」

プロゴルファー 牛山 正則 氏

## 卓話 「縁の下の力持ち」(先週の続き)

アベノミックスの下で、展望を切り拓く新たな努力が始まっているが、本当に大事な点は何か、敢えて私見を述べると、

第一に、人々の意識が、グローバルな生存競争を強く意識した攻めの方向に転じること。とくに民間企業において、グローバルな市場を広く捉え、ビジネス・ネットワークを柔軟に組み替えること。内外の知的人材を集め、切磋琢磨の中から知識創造をベースとしたイノベーションの力を伸ばすこと。わが国民は、もともと異文化を吸収しつつ独自の文化を磨く能力に長けている。今後はこうした形で経済の価値体系と文化の価値体系の肩を揃えることが大切である。

(注)日本の公開企業の資本生産性は、今や、世界標準に比べて著しく低い。直近10年平均の日本のROEは6%。これは新興国を含む世界40-50カ国の平均値(13%)の半分以下。

第二に、女性の社会進出と、子育てを容易にする条件を整えること。人口動態の変化の中でわが国として総力戦の体制を整えなければならない。

(注)国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来人口推計」(中位推計 2012/1)生産年齢人口(15~64歳)は1995年にピーク(8,726万人)その後減少し続け2060年には4,418万人と、ピーク比ほぼ半分の水準になると見込まれる。総人口のピークは2010年(12,806万人)今後50年間に現状比30%強減少し、2060年には8,674万人になる。なお、同研究所の参考推計によれば、現在の趨勢のまま推移すると、総人口は2110年には4,286万人まで落ち込む見込み。

第三に、農業、林業、漁業を若者が担うことを可能とし、地域コミュニティを再興すること。これは、再生可能エネルギーの開発事業にも繋がる面を持っている。

第四に、撃たれても揺るがない頑健な経済基盤を築くため、信頼の置ける中期財政再建計画を早期に樹立するとともに、不可分の一体として社会保障制度を抜本的に改革すること。この作業を通じ、受益と負担の公平性をめぐる真剣な議論を人々の間で呼び起こすこと。

(注)IMFのFiscal Monitorによれば、日本の公的債務のGDP比は2013年243.5% 2014年242.3%2012年度の社会保障給付を見ると、年金53兆円弱、医療35兆円弱、介護その他20兆円強。これらの6割は社会保険料で賄われているが、残りの4割は税財源に依存。わが国の税収は約40兆円なので国の負担は明らかに過大。

第五に、将来の時間軸に沿って環境政策と整合性の取れたベストエネルギーミックスを想定した上、新しいエネルギー基本計画を確立すること。

最後にもう一つの大きな宿題が残っている。今申し述べた全ての課題を果たして行く上に金融機能の向上が不可欠である。

高度成長時代は、預金貸出を通ずる信用仲介が大きな役割を果たした。銀行を中心に預金取り扱い金融機関が強力にgovernanceを発揮した。これからは、あらゆる産業分野で世界最先端を切り拓いて行くことが期待されている。高度成長の時代に比べ、遥かにリスクの高い戦線を突破して行く訳であるので、timelyにrisk moneyが供給される仕組みが整っているかどうか、これが勝敗を決する一つの重要な分かれ目となって来よう。この観点から、伝統的な金融機能に加えて資本市場を通ずる信用仲介機能が飛躍的に前進する必要がある。資本市場の中で中核的な存在である証券会社に期待するところも大きい。

ただ、世界全体としてLehman shockの後始末が続いており、金融機関は総じてかつてに比べrisk takingに慎重になっているのが現状である。その中で、risk moneyの供給機能をもっと活発にという場合、この間どのように折り合いをつけることが出来るのか、基本となる考え方を整理しておくことが大切である。

Lehman shockに到る過程を振り返ってみると、先進国がおしなべて産業資本主義のパラダイムの中で成熟段階に達したのを受け、次はもしかするとfinancial capitalismということで、(とくに米国において)leverageを効かした金融取引が活発となり、あたかも实体经济を離れて金融が自己回轉的に価値を生むかの如き幻想を呼ぶに到った。その道に帰ってはならぬことは申すまでもない。夢を求めて前進する人々の動きを的確に捉え、金融はこれを背後からsupportする。人々の行動に伴うriskのprofileに応じたtailor madeのfinanceが機敏に提供されるということが肝要なのではないか。

金融は、活発でなければならない。しかし如何に活発であっても、根っ子のところで受託者責任(fiduciary duty)の法理に沿った行動でなければならない。金融が前面に出て派手な演技で人を惹きつけることを期待するものではない。主役はあくまでも企業であり、家計である。金融は「縁の下の力持ち」に徹してこそ本分を発揮することが出来ると認識されなければならない。

香川県金毘羅さんの麓に「金丸座」という江戸時代に建てられた日本最古の芝居小屋がある。今では、時々本格的な歌舞伎が上演されている。あの芝居小屋の「廻り舞台」と「すっぽん」は、どういう仕組みで動いているか、私がかつて見学した時は、人が支えの棒を肩で担いで動かしていた。正に、「縁の下の力持ち」、これぞ金融の本当の姿である。

「すっぽん」歌舞伎劇場の本花道の七三にある切穴。奈落から花道へ役者をせり上がらせるためのもの。(完)



11月29日(金) / 12件 24,000 円

累計 627,000 円

多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

西澤民夫/井上様、本日はよろしくお願ひいたします。親睦ゴルフ欠席ですみませんでした。風邪には注意して下さい。高須康有/井上様、ご多忙の中、本日の卓話ありがとうございます。吉岡琢磨/井上会長、本日は忙しい中卓話を有難うございます。楽しみにしています。浅川ガバナー補佐、お久しぶりです。浅川博道/久しぶりにお世話になります。尾関武男/本日は井上先生、卓話よろしくお願ひします。又、先日のゴルフ親睦会お世話になりました。石井謙次/小林さん、吉岡さん、ゴルフコンペ大変お世話になりました。橋本さん日本カントリー大変素晴らしかったです。橋本年男/親睦ゴルフ大会、お天気が良くて良かったですね。雨男の私が欠席でしたからでしょう!!石井さん優勝おめでとうございます。穂苅さんニコニコ苦労様です。大日方真/富士山マラソン完走しました。次は東京マラソンです。入沢頼二/私の謡の師匠が文化庁の文化交流使に選ばれ、カナダに1ヶ月ばかり公演してくる予定です。日本のソフトパワーをひろめる良い機会と期待しております。田村昭二/いよいよ来週から師走です。何かと落ち着きません。土屋東一/穂苅さんニコニコ代理(当番)ご苦労さまです。穂苅裕久/今日は大分より参りました。昨日、湯布院では雪がチラチラしていました。沢山のニコニコありがとうございました。